

令和5（2023）年度

ひたちの国際交流

— 日立市の国際交流事業のあらまし —



日立市

目 次

はじめに	1
1 市内で実施されている国際交流事業	
(1) 日立市の取組	2
(2) 小・中学校の取組（私立中学校を含む）	5
(3) 高等学校・大学の取組	6
(4) 国際交流活動団体の取組	11
(5) その他市内団体の取組	16
2 国際親善姉妹都市のあらまし	
(1) バーミングハム市（アメリカ合衆国アラバマ州）	21
(2) タウランガ市（ニュージーランド ベイ・オブ・プレンティ地方）	22
(3) 姉妹都市データ（日立市との比較）	23
【参考】姉妹都市とは？	24
3 国際交流よくある質問 F A Q	26
4 参考資料	
(1) 日立市内の外国人市民数	29
(2) 茨城県内の外国人市民数	31
(3) 茨城県及び県内市町村の姉妹都市提携状況	32
(4) 日立市の国際交流のあゆみ（年表）	33



はじめに

このハンドブックは、令和5（2023）年度の日立市及び市内の関係団体などの国際交流活動の紹介、そして国際親善姉妹都市に関する情報などをまとめたものです。

令和5年度は、世界的に猛威を振るった新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」へと移行し、マスクの着用や海外渡航の制限が撤廃されるなど、国際交流の再出発となりました。

外国人市民数についても、令和4（2022）年12月末現在の47か国1,487人と比較すると、令和5（2024）年12月末現在は47か国1,664人と177人増加し、外国人市民数の割合が全体の1パーセントを超えるなど、就労や勉学の機会が増えたことが確認できました。

また、姉妹都市交流においても、タウランガ市青少年グループが5年ぶりに来市し、人と人との交流が本格的に再開しました。

9月に予定していたタウランガ市長代行一行の来市は、本市が台風13号により被災したことを受け、来年度へ延期とはなりましたが、タウランガ市から労いの親書をいただくなど、姉妹都市交流の今後の発展を再確認したところです。

また、今年度は、外国人市民向け無料相談会や外国人に日本語を教えるボランティアの養成講座、日立国際交流協議会と連携したメッセージアプリ「LINE」での情報提供をはじめ、外国人市民向けの施設見学会や防災訓練の実施など、増加する外国人市民の生活支援の強化に取り組みました。

このように、今後も国際交流活動団体等と連携しながら、隣人としての外国人が地域に溶け込み、地域に活力を与える存在となるような仕組みづくりを進めていきたいと考えています。

このハンドブックが、市内の国際交流事業を理解する一助となり、私たち一人ひとりが「多文化共生」時代に対応した市民としての意識が深まりますことを期待しています。

本ハンドブックの作成にあたり、御協力いただきました皆様方に厚くお礼を申し上げます。

令和6年3月
日立市生活環境部文化・国際課

1 市内で実施されている国際交流事業

(1) 日立市の取組

◆文化・国際課（国際交流推進主管課） ※ア～クは日立国際交流協議会との共催事業 （日立国際交流協議会については、P.11 参照）

- ア 「国際親善姉妹都市ウィーク」写真パネル展 *4月15日（土）から4月30日（日）まで
姉妹都市交流についてのあらましや、に姉妹都市交流事業についての写真パネルの展示を行い、
各姉妹都市とゆかりのある記念品等も展示した。
- イ 外国人市民向け施設見学会
*6月25日（日）／奥日立きららの里／参加者54人（外国人41人・日本人13人）
外国人市民の生活に身近な市の施設の見学会を実施し、外国人も同じ地域に住む住民
として、市の施策等について理解を深めた。
- ウ タウランガ市青少年グループ受け入れ *9月28日（木）～10月4日（水）／受入人数24人
タウランガ市青少年グループ24人が来市し、市長表敬訪問や市内高校訪問、日本文化
体験（そば打ち、着付けなど）等を実施した。
- エ 日立市・タウランガ市姉妹都市提携35周年記念デジタル写真展
*11月5日（日）～11月30日（木）／日立シビックセンター
タウランガ市との姉妹都市提携35周年を記念して、日立市民からタウランガ市との思いで写
真を募集し、デジタル写真展を開催した。また、タウランガ市の概要や、日立市との交流のあゆみ
についての写真パネルの展示も実施した。
- オ 外国人市民向け無料相談会 *11月5日（日）
外国人市民の生活支援の一環として、弁護士による相談会を実施し、3組9人の相談を受けた。
- カ 第21回ひたち国際文化まつりへの参加 *11月5日（日）
国際親善姉妹都市及び日立国際交流協議会を紹介するパネル展を実施した。
- キ 外国人市民向け防災訓練
*令和6（2024）2月18日（日）／日立消防署、日立市民会館／参加者33人（外国人16人・日本人17人）
外国人市民の防災意識の啓発を図る機会として、日立消防署で緊急時の電話のかけ方や消火訓
練、煙道体験を行った。また、災害時の情報取得方法について学んだ。
- ク その他 *通年
市ホームページ及び市公式 SNS（X（旧 Twitter）・Facebook）等で外国人市民向けに新型コロナ
ウイルス感染症や災害に関する情報等の各種生活情報を提供した。

◆スポーツ振興課

第 50 回日独スポーツ少年団同時交流 *7月27日(木)~8月13日(日)

日独両国のスポーツ少年団青少年及び指導者の相互交流により友好と親善を深め、国際的能力を高めると共に、両国の青少年スポーツの発展に寄与することを目的として、両国の文化・社会体験など共通テーマに関するディスカッションを実施した。

◆指導課

ア 外国語指導助手配置事業 *通年

児童・生徒の英語でのコミュニケーション力の向上や国際教育の充実を図るため、日立市立全小・中学校に外国語指導助手（ALT）を配置している。

イ 学校通訳ボランティア派遣事業 *随時

日本語が不自由な児童・生徒（外国人等）が十分な教育を受けられるように、通訳ボランティアを派遣し、対象児童生徒の学校生活の支援を行った。

◆多賀図書館

外国語おはなし会 *12月2日(土) 参加者48人

子どもたちがネイティブの外国語に接して国際交流感覚を身に付ける一助とすることを目的として、ALT3人を演者に迎え、英語の絵本の読み聞かせや手遊びなどを実施した。

イ 世界おもしろ発見クラブ展ギャラリートーク *12月16日(土)

ひたち生き生き百年塾の神永敏光氏を講師に招き、展示を見ながら「世界おもしろ発見クラブ」の活動について質疑応答を行った。

◆南部図書館

ア 世界おもしろ発見クラブ展 *12月13日(水)~19日(火)

イギリス、アメリカ合衆国、韓国等世界の文化を学び交流する「世界おもしろ発見クラブ」の活動についてのパネル展示を実施した。

イ 世界おもしろ発見クラブ展ギャラリートーク *12月16日(土)

ひたち生き生き百年塾の神永敏光氏を講師に招き、展示を見ながら「世界おもしろ発見クラブ」の活動について質疑応答を行った。

【参考】主な外国語表記刊行物

課所名	刊行物等	発行日等	内 容
文化・国際課	外国人市民向け 生活ガイドブック	令和5(2023)年3月	日立市で生活する際に必要な情報をまとめた外国人向けのガイドブック(英語・中国語・ベトナム語・タガログ語・やさしい日本語)
	日立市文化振興指針 (改訂版)	平成29(2017)年3月	日立市における今後の文化振興に関する基本的な考え方や、施策の基本的な方向性を示すために改訂した文化振興指針(一部に英語を併記)
	タウランガ市親善訪問団 派遣報告書	平成30(2018)年3月	タウランガ市親善訪問団派遣における、「第6回姉妹都市会議」の結果等をまとめた報告書(英語併記)
広報戦略課	日立市勢要覧	平成27(2015)年12月	日立市の歴史、自然、観光、産業などの紹介、総合計画に基づいた現状と将来の展望及び統計資料を掲載した冊子(一部に英訳を併記)
観光物産課	観光ガイドマップ	平成23(2011)年11月	日立市の観光地等を紹介したガイドマップ(英語・中国語・韓国語)
	HITACHI CITY VISITOR'S GUIDE	平成28(2016)年10月	日立市の観光地、イベント行事、特産品等を紹介したパンフレット(英語)

(2) 小・中学校の取組（私立中学校を含む）

◆大久保小学校

海外からの児童の受け入れ *6月~7月

アメリカ1名、韓国2名、スイス1名の合計4名の児童が1年生及び4年生のクラスに入り、共に生活することで交流した。

◆諏訪小学校

アメリカからの児童の受け入れ *7月4日(火)~20日(木)

アメリカ人1名が2年生の学級に入り、共に授業を受け交流した。

◆大沼小学校

ア 留学生から学ぼう *6月27日(火) /参加者95人

国際交流や異文化理解教育を目的として、茨城キリスト教大学留学生8名を招き、各国の自然や言語について学んだ。また、児童は大沼小のビオトープを紹介した。

イ 国際交流ウォークラリー *10月5日(木) /参加者95人

国際交流や異文化理解教育を目的として、茨城キリスト教大学留学生や教授6名と一緒にウォークラリーを行い、英語で交流した。

ウ オーストラリアの小学生との交流 *6月~12月 /参加者89人

国際交流や異文化理解教育及び外国語学習の推進を目的として、オーストラリアニューサウスウェールズ州ブラウリー市の日本語を学習している4・5・6年生の3学級とオンラインで交流した。また、クリスマスカードの交換を行った。

エ サンタクロースにカードを送ろう *12月 /参加者78人

異文化理解教育や外国語学習の推進を目的として、カナダのサンタクロース宛てにクリスマスカードを送り、返事をもらった。



留学生から学ぼう



オーストラリアの小学生との交流

◆坂本小学校

ワールドキャラバン *令和6(2024)年3月18日(月) /参加者50人

国際交流や異文化理解教育を目的として、外国人講師(アメリカ、インドネシア出身)2名を招き、各国の生活の様子や文化等について学んだ。

◆坂本中学校

ワールドキャラバン *12月12日(火) /参加者16人

国際交流や異文化理解教育を目的として、外国人講師(ミャンマー出身)1人を招き、各国の生活の様子や文化等について学んだ。

◆茨城キリスト教学園中学校

ア 豪州短期留学プログラム *7月22日(土)~8月4日(金) /参加者15人、引率者2人

姉妹校との交流や異文化理解、英語力向上を目的として、オーストラリアのヴィクトリア州フリップアイランドにある姉妹校 Newhaven College へ生徒を派遣し、ホームステイをしながら、現地の学校へ通い、異文化を体験した。

イ Autumn Australia Program2023 *9月10日(日)~18日(月)

姉妹校 Newhaven College の生徒を、在校生の家庭へホームステイで受入れ、授業やイベントを通じて交流を深めた。

◆日立第一高等学校附属中学校

シンガポール語学研修 *令和6(2024)年2月11日(日)~16日(金) /参加者130人

シンガポールへホームステイを行い、現地の生活を体験した。また、現地の大学生を相手に日本の文化についてスライドを使用して発表したり、シンガポール市内を散策して交流を深めた。

(3) 高等学校・大学の取組

◆日立第一高等学校

ア カナダ海外研修 *10月8日(日)~15日(日) /参加者21人

SDGs への理解促進や異文化交流、英語力向上を目的として、ブリティッシュコロンビア大学の学生と交流した。

イ 留学生の受入れ *8月28日(月)~令和6(2024)年1月30日(火)

スロバキアからの留学生を受け入れた。

ウ ひたち国際文化まつり *11月5日(日) /参加者21人

カナダ海外研修で学習した成果を日本語と英語で発表した。

◆日立第二高等学校

ア 英語研修 *5月26日(金) /参加者32人

英語のコミュニケーション能力の育成や異文化理解を目的として、TOKYO GLOBAL GATEWAY(東京都英語村)において、ネイティブスピーカーと交流した。

イ 校外英語学習 *7月9日(日)~10(月) /参加者23人

英語のコミュニケーション能力の向上を目的として、ブリティッシュヒルズ(福島県岩瀬郡天栄村)において、ネイティブスピーカーのレッスンに参加した。

ウ English Day *11月15日(水)

国際理解を目的として、全校生徒で TOKYO GLOBAL GATEWAY やブリティッシュヒルズについてのプレゼンテーションを行った。

エ 国際教育講演会 *11月22日(水)

国際理解を目的として、茨城キリスト教大学のインターン生2名(アメリカ、オーストラリア出身)を招き、それぞれの国の特徴や文化についてクイズ形式で学んだ。

◆多賀高等学校

ア JICA国際協力出前講座 *令和6(2024)年1月15日(月)/参加者226人

発展途上国の現状や国際交流について理解を深めることを目的として、JICA海外青年協力隊経験者1名を招き、出前講座を行った。

イ JICA研修員による学校訪問 *令和6(2024)年1月22日(月)/参加者194人

異文化理解や国際交流の推進を目的として、JICA研修員12名とJICA職員1名を招き、それぞれの出身国について英語で説明を行った。

◆茨城キリスト教学園高等学校

ア 茨城キリスト教大学留学生による文化紹介

*6月27日(火)/外国人講師(ベトナム、インドネシア出身)4人

*7月7日(金)/外国人講師(イタリア、ウクライナ出身)3人

国際交流や異文化理解教育を目的として、各回異なる外国人講師を招き、各国の文化紹介と質疑応答を行った。

イ カンボジアの Beatitude Cambodian School の生徒とのオンライン交流 *10月28日(土)

異文化理解や国際交流の推進を目的として、「Virtual Love and Peace」と題し、カンボジアの学校の生徒たちと事前に取り交わし質問事項をオンラインで直接やりとりし、お互いの学校や文化についてプレゼンテーションを行った。

ウ Summer America Program 2023 *5月24日(水)~6月6日(火)

異文化理解や姉妹校との国際交流の推進を目的として、アメリカ合衆国オクラホマ州 Byng High School の学生6名と引率教諭2名をホームステイで受け入れながら、学校の授業に参加したり、様々なイベントを行った。

エ 学園祭におけるカンボジア産の雑貨販売 *11月3日(金)

カンボジアの学校への支援の一環として、学園祭でカンボジア産の雑貨を販売した。

オ 長期留学生の受け入れ *8月~令和6(2024)年7月/参加者2人

異文化理解や国際交流の推進を目的として、ポルトガル・アメリカの留学生を受け入れた。

カ 米国短期留学プログラム 2023 *令和6(2024)年2月28日(水)~3月8日(金)/生徒10人、引率教員2人

異文化理解や姉妹校との国際交流の推進を目的として、ホームステイをしながら、アメリカの姉妹校で授業を受けたり、様々なイベントに参加した。

キ 国際理解講演会 2023 *令和6(2024)年3月12日(火)/1・2年生約550人

国際理解を深めることを目的として、アメリカの大学へ進学した卒業生とオンラインでつなぎ、アメリカの大学生生活の様子や、進路選択のアドバイスなどを講演してもらった。

ク 豪州短期留学プログラム 2023 *7月22日(土)~8月4日(金)/生徒15人、引率教員2人

異文化理解や姉妹校との国際交流の推進を目的として、ホームステイをしながら、現地の学校で授業を受けたり、様々なイベントに参加した。

ケ G.R.E.A.T. Program2023 *7月14日(金)~8月6日(日) /生徒12人、引率教員2人
異文化理解や英語力の強化を目的として、アメリカの大学へ生徒を派遣し、3週間、アメリカの大学生の生活を体験した。

コ Autumn Australia Program2023 *9月10日(日)~18日(月) /生徒15人、引率教員2人
異文化理解や姉妹校との国際交流の推進を目的として、オーストラリアヴィクトリア州 Beaconhills College の学生15名と引率教諭3名をホームステイで受入れながら、学校の授業に参加したり、様々なイベントを行った。

◆明秀学園日立高等学校

ア S T・Sコース海外研修(カナダ) *12月9日(土)~11日(月) /2学年47人
2学年が海外研修中にカナダにある大学と高校に訪問し交流した。

イ G Sコース海外研修(アメリカ) *12月8日(金) /2学年10人
2学年が海外研修中にアメリカ合衆国カリフォルニア州にある大学を訪問し交流した。

ウ オーストラリア姉妹校交換留学
*受入:4月27日(木)~5月10日(水) /参加者2人
*派遣:7月23日(日)~8月7日(月) /参加者4人
語学研修と異文化交流を目的とし、オーストラリアのバーンサイド高校と交換留学を実施した。

エ インド姉妹校交換留学(受入れ)
*受入:6月18日(日)~28日(水) /参加者8人、引率者2人
*派遣:10月15日(日)~26日(木) /参加者6人
語学研修と異文化交流を目的とし、インドのリシクルビデャピート学園と交換留学(受入れ)を実施した。

◆日立工業専修学校

ニュージーランドタウランガ市生徒交流会 *9月29日(金)
日立市が受け入れたタウランガ市青少年グループ24人と、キーホルダー作成や剣道体験、昼食会、着物着付け体験などで交流した。

◆茨城キリスト教大学

ア 交換留学生の受入れ
日本語の習得及び日本文化等について理解を深めるとともに学生間の交流を図ることを目的として、ベトナム等の協定校から交換留学生を受入れた。
(ア) ベトナム(フエ大学外国語大学) *4月~/受入人数2人
(イ) ベトナム(フフリット大学) *4月~/受入人数1人
(ウ) ベトナム(フォーテック大学) *4月~/受入人数1人
(エ) インドネシア(リアウ大学) *4月~/受入人数3人
(オ) ウクライナ(リヴィウ国立大学) *4月~/受入人数1人
(カ) イタリア(ミラノ大学) *9月~/受入人数1人

イ 交換留学生の派遣

外国語の習得及び各国の文化・情勢等について理解を深めることを目的として、諸外国の協定校に生徒を派遣している。

- (ア) 韓国（明知大学校）＊3月～12月／派遣人数2人
- (イ) カナダ（ファンシヨーカレッジ）＊9月～令和6（2024）年3月／派遣人数2人
- (ウ) アメリカ（オクラホマクリスチャン大学）＊9月～令和6（2024）年3月／派遣人数1人

ウ セメスター留学＊9月～令和6（2024）年3月／派遣人数1人

英語力の向上及び異文化体験を目的として、イギリスの協定校へ学生を派遣して、集中英語コースに参加した。

エ 海外語学研修

外国語の習得及び各国の文化・情勢等について理解を深めることを目的として、諸外国の協定校で開講される短期講座に生徒を派遣している。

- (ア) 韓国（明知大学校）＊8月～9月／派遣人数3人
- (イ) アメリカ（アシュランド大学）＊8月～9月／派遣人数3人
- (ウ) アメリカ（オクラホマクリスチャン大学）＊令和6（2024）年2月～3月／派遣人数9人
- (エ) ニュージーランド（ワイカト大学）＊令和6（2024）年2月～3月／派遣人数2人
- (オ) カナダ（ファンシヨーカレッジ）＊令和6（2024）年2月～3月／派遣人数3人
- (カ) フィリピン（ネグロス）＊令和6（2024）年2月～3月／派遣人数4人
- (キ) フランス（カヴィラム）＊令和6（2024）年2月～3月／派遣人数2人

オ 留学生による文化紹介

異文化理解等を目的として、校内外の各イベントにおいて交換留学生による自国の文化等の紹介を行った。

- (ア) 茨城キリスト教学園チャペル
- (イ) 茨城キリスト教学園高等学校「文化紹介プログラム」
- (ウ) 茨城キリスト教大学公開講座「夏休み子どもアンネローゼ」
- (エ) 茨城キリスト教大学学園祭 ＊11月3日（金）
- (オ) ひたち国際文化まつり「留学生の母国紹介」 ＊11月5日（日）
- (カ) 日立市立大沼小学校「留学生から学ぼう」 ＊6月27日（火）
- (キ) 水戸市内小中学校
- (ク) 常陸太田市内小中学校

キ 茨城キリスト教学園外国人留学生奨学援助金 ＊通年

外国人留学生及び大学付属研究所等に所属して研究を行う外国人研究生に、就学・研究の援助金を支給した。

◆茨城大学工学部

ア 留学生の受入れ ＊4月～、9月～／受入数19人

中国、インドネシア、マレーシア、インド、ベトナムからの外国人留学生を受入れた。

イ 学生チューター主催国際交流イベント

*6月21日(水)、7月18日(水)、12月1日(金)、令和6(2024)1月18日(木)／参加者(各回)15人前後
日本文化紹介やゲームなどを通して、留学生と日本人学生の交流を図るとともに、相互理解を深めた。

ウ 日本語カフェ *4月～

留学生向けの初級日本語会話及び中級日本語ディスカッションを開講した。

エ ベトナム・ハノイ自然科学大学との交流

*派遣：9月11日(月)～16日(土)／派遣者5人

*派遣：10月22日(日)～26日(木)／受入者3人

国際感覚の養成や英語コミュニケーション能力の向上を目的とし、サマープログラムでは日本人学生を派遣し、オータムセミナーでは、集中短期セミナーを開講しベトナム人学生を受入れた。

オ 指定校留学生派遣 *7月～令和6(2024)6月／派遣者1人

オーストラリアのシドニー工科大学との大学間交流協定により交換留学を行った。



(4) 国際交流活動団体の取組

◆日立国際交流協議会 (事務局：日立市文化・国際課) ※市との共催事業については、P.2 参照

昭和 55 (1980) 年にバーミングハム市 (アメリカ合衆国アラバマ州) から姉妹都市提携の申出を受けたことがきっかけとなり、翌年に市内企業・教育機関・市民団体等を会員とした「姉妹都市提携協議会」として発足し、バーミングハム市との姉妹都市提携促進活動を行った。その後、昭和 57 (1982) 年に姉妹都市提携協議会を発展させた「日立姉妹都市協議会」を発足して、同年 4 月 23 日にバーミングハム市との姉妹都市提携に尽力した。

昭和 63 (1988) 年 4 月 17 日にはタウランガ市 (ニュージーランド) とも姉妹都市提携し、市民の国際交流活動も広がりを見せていたことから「日立姉妹都市協議会」を発展的に改組し、平成元 (1989) 年 5 月に「日立国際交流協議会」として発足した。

現在は、各種機関・団体のネットワークを通じて、姉妹都市交流を始めとした国際交流や外国人市民への生活サポートなどの活動を市民レベルで推進し、市の国際交流活動の中心的な役割を担っている。

*設立年月日 昭和 56 (1981) 年 10 月

*代表者 ジム・D・バットン (会長)

*会員数 34 団体 (令和 6 (2024) 年 3 月末現在)

*連絡先 日立国際交流協議会事務局 (日立市文化・国際課内)

TEL : 0294 (22) 3111 (内線 535) メールアドレス : kokubun@city.hitachi.lg.jp

ア 日本語ボランティア養成講座 *6月9日(金)~8月25日(金)の全10回/参加者11人

市内の日本語教室において、外国人に日本語を教えるボランティア講師を養成するため、初心者を対象とした入門講座を実施した。

イ 日本語ボランティア・ステップアップ講座

*令和6(2024)年1月17日(水)~2月21日(水)の全4回/参加者18人

市内の日本語教室において、外国人に日本語を教えるボランティアの能力向上を図る講座を実施した。

ウ 第19回フレンドシップ・キルト展 *令和6(2024)年2月28日(水)~3月3日(日)/来場者989人

キルト文化を通じた各姉妹都市との友好親善交流を目的として、日立市内を始め、国内外の姉妹都市、親善・友好都市(バーミングハム市、タウランガ市、桐生市、山辺町)のキルト愛好家の作品や、それぞれの都市に関するパネルの展示等を実施した。

エ 国際交流事業助成金の支給 *通年

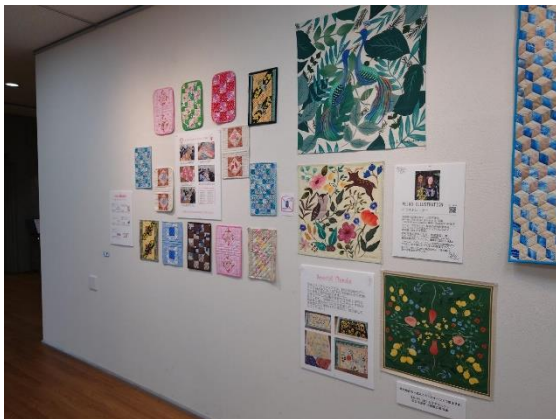
会員団体が国際交流事業又は日本語教室運営等を実施する際の活動助成金を支給した。



日本語ボランティア養成講座



日本語ボランティア・ステップアップ講座



フレンドシップ・キルト展 会場の様子

◆フレンドリーあんず

「茨城アジア教育基金」を支える会に協力し、平和な国際社会を目指して世界諸国の人々と交流し、互いに理解を深め、共に生きる喜びを分かち合うことを目的に活動している。

- * 設立年月日 昭和 60 (1985) 年 7 月 19 日
- * 代表者 福地 季子
- * 会員数 36 人 (令和 6 (2024) 年 3 月現在)
- * 連絡先 福地 季子 TEL : 0294 (21) 4150
大竹 きく江 TEL : 0294 (24) 6955

ア 外国人市民向け日本語教室 * 通年 (毎週火曜日、金曜日)

イ フレンドリーあんずの夏まつり * 7月9日 (日)

日立の自然に親しむとともに、会員と在住外国人同士の懇親を深めることを目的に、海岸清掃を行い、浜遊びやビーチボールリレー、スイカ割りを楽しんだ。

ウ 新春文化交流会 * 令和 6 (2024) 年 1 月 7 日 (日)

各出身国の文化交流を目的に、日本の伝統文化である書初めのゲームや、各出身国の歌を楽しんだり、正月の食べ物を味わいながら交流した。

エ 外国人のための生け花クラブ * 毎月 1 回 / 参加者 3 人

日本文化の理解を目的に、季節の花や行事の花を水盤や瓶にさして生け花を学んだ。

オ ラオススタディツアー参加



フレンドリーあんずの夏まつりの様子

◆国際交流ボランティアネットワークさくら

ボランティア一人ひとりをネットワークすることを目的に発足。「身近に出来ることから国際交流を考え行動しよう」をモットーに、さくらの五弁の花びらにちなみ、5つの分野（語学、支援、研修、文化交流、ホームステイ・ビジット）で活動を展開している。

*設立年月日 平成2（1990）年11月10日

*代表者 臼井 多賀子（代表世話人）

*会員数 30人（令和6（2024）年3月現在）

*連絡先 臼井 多賀子

TEL：0294（34）6257 メールアドレス：takako_usui2002@yahoo.co.jp

ア 外国人市民向け日本語教室 *通年（毎週木曜日、土曜日）

イ インターナショナルトーク *11月5日（日）／参加者107人

異文化理解及び国際交流を目的として、外国人パネリストによる意見発表や質疑応答を行った。
※第21回ひたち国際文化まつりにおいて開催

ウ ミニサロン *11月18日（土）／参加者30人

異文化交流を目的として、韓国人講師から韓国の文化や出身地釜山について、日本語での講演を聞いた。

エ 文化交流～日本の着物を着てみませんか～ *令和6（2024）年1月20日（土）／参加者38人

異文化交流国際理解を目的として、着物を着付けを体験し、和楽器の演奏を鑑賞した。



インターナショナルトークの様子

日立市の国際親善姉妹都市であるタウランガ市・バーミングハム市の市民と、さまざまな交流を通して友情を育み、互いの文化を学び、より深く理解することを目標に活動している。

- *設立年月日 平成15(2003)年10月
- *代表者 森村 由美子(会長)
- *会員数 20人(令和6(2024)年3月現在)
- *連絡先 森村 由美子
TEL: 0294(37)1483 メールアドレス: morimura@dune.ocn.ne.jp

ア ホームステイ受入

タウランガ市青少年グループ等の来市に伴い、ホームステイを受入れた。

イ 日立市産業祭での国際親善姉妹都市紹介 *11月11日(土)、12日(日)

日立市産業祭において、国際親善姉妹都市であるタウランガ市とバーミングハム市の紹介を行った。

◆日本語の部屋

県民大学「日本語指導基礎講座」修了生によって設立。会員の地域生活者としての力と日本語支援スキルを活用して、外国人市民のための日本語教室の開催を始め外国人学習者との交流事業等を実施している。

- *設立年月日 平成21(2009)年4月1日
- *代表者 遠藤 愛子(代表)
- *会員数 13人(令和6(2024)年3月現在)
- *連絡先 遠藤 愛子
TEL: 090(6834)1119 メールアドレス: makemehappy3719@yahoo.co.jp

ア 外国人市民向け日本語教室 *通年(毎週木曜日、土曜日)

イ BBQ大会 *10月8日(日) /参加者32人

異文化理解や国際交流の推進を目的に、異なる国の学習者たちとBBQを通して懇親を図り、相互理解を深めた。

ウ 餅つき大会 *12月24日(日) /参加者15人

異文化理解を目的に、餅つきで作った餅を食べたり、かるた取りをして日本の文化を学んだ。

◆ガールスカウト日立市国際交流委員会

ガールスカウトの教育理念に基づき、少女たちを支える指導者の育成と資質向上を目指した活動を実施している。

- *設立年月日 昭和54(1979)年4月
- *代表者 菊地 清恵(委員長)
- *会員数 30人(令和6(2024)年3月現在)
- *連絡先 菊地 清恵
メールアドレス: g.s.kokusai@gmail.com

ガールスカウト日立市姉妹都市交流 2023 *3月21日(火)~4月4日(火) /参加者10人
相互文化交流と海を越えた友情を育むことを目的に、姉妹都市であるニュージーランドタウランガ市へ派遣し、現地のガールスカウトと交流を行った。

◆ひたちとアジアの文化交流をすすめる会

アジア文化を広く市民に紹介し、その裾野を広げていくため、「アジア諸国との文化交流」をキーワードに組織された市民ボランティアネットワーク。「ひたち国際文化まつり」の開催を中心に、各種活動を実施している。

- *設立年月日 平成9(1997)年4月
- *代表者 小澤 紀夫(会長)
- *会員数 109人(令和6(2024)年3月現在)
- *連絡先 ひたちとアジアの文化交流をすすめる会事務局
(日立シビックセンター交流事業課内)
TEL: 0294(24)7711 メールアドレス: salon@civic.jp

- ア アジア文化講演会「カンボジアの現状と課題」 *5月21日(日) /参加者約25人
根岸恒次氏(NPO法人21世紀のカンボジアを支援する会理事長)を講師に招き、カンボジアの現状についての講演会を実施した。
- イ カンボジア料理講座 *9月2日(土) /参加者約29人
浅水伸介氏(カンボジア・ベトナム屋代表)を講師に招き、カンボジア料理の調理方法について学んだ。
- ウ 第21回ひたち国際文化まつりの開催 *11月1日(水)~5日(日) /参加者約2,700人(延べ人数)
広く市民に世界各国の文化を紹介し、国際交流や異文化に関する理解を深めてもらうことを目的として国際文化まつりを開催。日立市内の国際交流団体の活動紹介や、体験ブース、展示などを行った。
- エ アジア文化講演会 *令和6(2024)年2月11日(日)
茨城キリスト教大学の講師を招き、「カンボジアの歴史とアンコール・ワット」をテーマとした講演会を行った。

◆日立市日中友好協会

平成8(1996)年5月に「茨城県日中友好協会」が発足したことを受けて結成。日本と中華人民共和国の様々な分野(文化、教育、経済)に渡る友好交流や留学生・研修生等との交流、支援を目的に活動している。

- *設立年月日 平成8(1996)年6月
- *代表者 藤井 生美(会長)
- *会員数 60人(令和6(2024)年3月現在)
- *連絡先 藤井 生美 TEL: 090-2912-4461

- ア パンダアートコンテスト開催 *7月1日(土)~31日(月)
 ジャイアントパンダ誘致醸成を目的に、市内小中学校、高校、一般から双子のパンダをテーマに
 絵画を募集し、パンダフェスからひたち国際文化まつりまでの期間、市内展として 326 作品を
 Hi タッチランドハレニコに展示した。
- イ パンダフェス開催 *10月20日(金)~22日(日) /参加者延べ 18,000 人
 ジャイアントパンダ誘致醸成及び日立港から世界へつながるダイバーシティ「茨城」をアピール
 することを目的に、パンダフェス (Peace And Diversity - Hitachi World Festa -) と題し、キ
 ッチンカーの出店や音楽ステージ発表などのフェスを開催した。
- ウ 中国語スピーチコンテスト *10月28日(土) /朗読部門 14 人、スピーチ部門 3 人
 中国語学習の普及と質の向上を目的として、NPO 法人茨城県日中友好協会が主催となりスピーチ
 コンテストを開催した。
- エ ひたち国際文化まつり *11月1日(水)~5日(日) /参加者約 800 人
 国際文化交流を目的として、パンダぬいぐるみのお店を出店した。
- オ 元宵節(春節)を祝う会 *令和 6(2024)年 4 日(土) /参加者 50 人
 例年、春節を祝う会として開催していたが、留学生のテスト期間と重複したため、日本の小正月
 にあたる元宵節を祝う会として開催した。。

(5) その他市内団体の取組

◆ひたち生き生き百年塾

- ア 国際交流講座世界おもしろ発見クラブ「韓国と仲良くなろう」 *6月18日(日) /参加者 19 人
 異文化理解や国際交流の推進を目的に、韓国出身の講師を招き、韓国の文化やファッション、食生活
 や学校生活について話を聞き、簡単な韓国語を練習して交流した。
- イ 国際交流講座世界おもしろ発見クラブ「10Photo Exchange メール交換」
 *9月17日(日)、11月19日(日)
 イギリス・ゴータムと「学校給食」をテーマに画像とレポートのメールを交換し、小中学校の給食
 の献立や給食風景、給食システムの違いを学んだ。第2回では、アメリカ・エルドラドの小学生と
 「私たちのまち」、高校生と「地域のイベント」をテーマに交流し、アメリカの始まりと歴史、日本
 食レストラン、日常生活や地域のイベントについて学んだ。
- ウ 市民向け講座「国際理解講座」 *9月3日(日)、10日(日) /参加者 25 人
 異文化理解や国際交流の推進を目的に、インド出身の講師招き、インド北部の世界遺産や衣食住
 について話を聞いた。また、講師や参加者の海外旅行体験談を語り合い、異文化理解のコツについ
 て話し合った。
- エ 国際交流講座世界おもしろ発見クラブ「スペイン、アメリカ、バングラディッシュを学ぼう」
 *10月15日(日) /参加者 16 人
 異文化理解や国際交流の推進を目的に、外国人講師(スペイン、アメリカ、バングラディッシュ出
 身者)を3名招き、それぞれの講師から自国についての話を聞き、質問して交流した。
- オ 市民向け講座「中国おもしろ脳トレ」 *10月20日(金)、27日(金) /参加者 14 人
 異文化理解や国際交流の推進を目的に、中国出身の講師招き、中国の算数(つるかめ算、指折り
 算)やパズルゲーム「ハノイの塔」の解き方などを学び、楽しく交流した。

カ 世界の文化を体験しよう *11月5日(日) / 参加者 40人

外国人講師(コロンビア・ジャマイカ出身)を2名招き、ひたち国際交流まつりの体験ブースとして、各国の衣食住や歴史、観光などについてゲームやクイズで交流した。

キ 市民向け講座「もっと知りたい世界」 *11月17日(金)、25日(金) / 参加者 11人(各回)

第1回は「南アフリカの文化と日常生活」をテーマに、南アフリカ出身の講師を招き、南アフリカの文化や他人種の共存、大都市の繁栄と地方の貧困のギャップ、講師の故郷の様子等をたくさんの映像とともに話を聞いたり、質問しながら交流した。第2回は「スペインの文化と異文化理解」をテーマに、スペイン出身の講師を招き、スペインの世界遺産やアート、食べ物について、映像やクイズ、エピソードなどを交えた話を聞いたり、質問しながら交流した。

ク 国際交流講座世界おもしろ発見クラブ「インドのスパイス文化体験」*12月17日(日) / 参加者 21人

異文化理解や国際交流の推進を目的に、インド出身の講師を招き、インドについての話を聞いた後、講師指導のもと実際にインドカレーを作り、スパイスの種類や扱い方を学んだ。



韓国と仲良くなろうの様子



インドのスパイス文化体験の様子



ひたち国際文化まつりの様子



◆日立さくら日本語学校

ア 外国人への学習支援 *通年

留学生、就労者への日本語指導及び企業への日本語講師派遣を行った。

イ ウクライナ避難民学生受入れ *4月～

ウクライナ避難民学生の日本語学習支援をオンライン授業で行った。

ウ 日本語ボランティア養成講座 *6月～8月

日立国際交流協議会と協力し、令和5年度日本語ボランティア養成講座を日立さくら日本語学校で実施した。

- エ 令和5年度受入施設等職員研修 講師派遣 *10月31日(火)
外国人スタッフを受け入れるための施設職員向けの講座へ日本語講師を派遣した。
- オ 日本語学校紹介 *11月5日(日)
日立さくら日本語学校の取り組みや、留学生の入国から進学までの流れなどを紹介した。
※第21回ひたち国際文化まつりにおいて開催
- カ ワールドキャラバン *12月12日(火)
茨城県留学生親善大使のワールドキャラバンで、日立さくら日本語学校の留学生が坂本中を訪問し、生徒たちに文化紹介を行った。
- キ 茨城県外国人介護人材育成ビギナーズ研修 講師派遣
*令和6(2024)年1月18日(木)、2月1日(木)、15日(木)
「外国人介護人材受入環境整備事業」の一環として、外国人介護スタッフの日本語の指導のために講師を派遣した。
- ク 成果発表会 *令和6(2024)年2月9日(金)
学生が日頃から勉強している日本語の成果を自治体職員や地域住民の方々に向けて発表した。
- ケ 茨城県技能実習介護人材日本語支援講師派遣 *3月~
「茨城県介護技能実習生支援事業」の一環として、介護福祉士国家資格の合格を目指す外国人スタッフへの日本語指導で講師を派遣した。

◆日立ロータリークラブ

- ア RI2820 地区 WCS プログラム「この指とまれ」*4月10日(月)~16日(日)
下館ロータリークラブと共同で、RI2820 地区の賛助クラブから賛助金を募り、ネパールのカスタマンダップロータリークラブへ送金した。また、学用品等の購入や配布先の選定を行い、日立と下館から2名ずつ現地へ派遣し、カスタマンダップロータリークラブの会員とともに3つの学校を訪問し贈呈式を実施し、交流を図った。
- イ 米山記念奨学生の受入れ *通年
米山記念奨学生(韓国出身)を受入れ、支援した。

◆日立南ロータリークラブ

- ア 米山記念奨学生の受入れ *通年
米山記念奨学生(ベトナム出身)を世話クラブとして受入れ、支援した。
- イ 短期留学プログラム *令和6(2024)年3月18日(月)~30日(土)
韓国ソウル市にあるSeaSeoulロータリークラブに協力いただき、ソウル市の中京高等学校へ日立市内の高校生を派遣する短期留学プログラムを実施した。

◆日立港ロータリークラブ

- ア 米山記念奨学会受入れ *通年
米山記念奨学生を受入れ、支援した。

イ 長期交換派遣学生の受入れと派遣 *8月~令和6(2024)年7月

国際ロータリーの「青少年交換プログラム」の一環として、長期交換派遣学生の受入れ(アメリカ)と派遣を行った。

◆日立ライオンズクラブ

中古メガネ回収、物資送付 *12月13日(水)

眼鏡の購入が困難な海外諸国への支援を目的として、市内4か所の図書館及び日立市役所1階、協力眼科5か所にメガネ回収BOXを設置し、市民から寄付された中古メガネ(897個)を、アメリカのライオンズクラブ国際協会眼鏡再生センターへ送付した。



中古メガネ回収事業ポスター

◆茨城交通株式会社

第6回「日立市中学生海外ホームステイ体験」 *8月3日(木)~13日(日) / 参加者6人

姉妹都市であるニュージーランドタウランガ市との交流を通して国際感覚を高めることを目的に、日立市内の中学生をタウランガ市へ派遣し、文化体験や市長訪問を行った。



タウランガ市での記念写真

◆泰榮エンジニアリング株式会社

ア 採用・受入れ *通年

外国人を社員として採用し、受入れている。

イ インターン受入れ *8月8日(火)

外国人2名をインターンとして受入れた。

ウ 日本語教室 *毎週

社内の外国人へ日本語教育として開催している。

エ 英会話教室 *毎日

社内の外国人による日本人社員向けの英語教室を開催している。

◆豊浦学区まちづくり推進会

インド文化体験教室 *8月30日(水) /参加者17人

異文化理解を目的に、外国人講師(インド出身)を招き、サリーの試着やチャイの試飲などを体験し、講師の話を通してインド文化について学んだ。

◆大沼学区コミュニティ推進会

民族舞踊の披露 *9月30日(土) /参加者約1,000人

異文化交流と国際交流を目的に、ネパール人6名を招き、ネパールの民族舞踊と歌を披露していただいた。

◆大みか学区コミュニティ推進会

茨城キリスト教大学留学生との交流 *7月28日(金)

国際交流の推進や異文化理解を目的に、茨城キリスト教大学のウクライナ留学生2名を招き、ウクライナの国旗の意味や伝統的な服装、食べ物などの話を日本語で講演いただいた。



交流会の様子

2 国際親善姉妹都市のあらまし

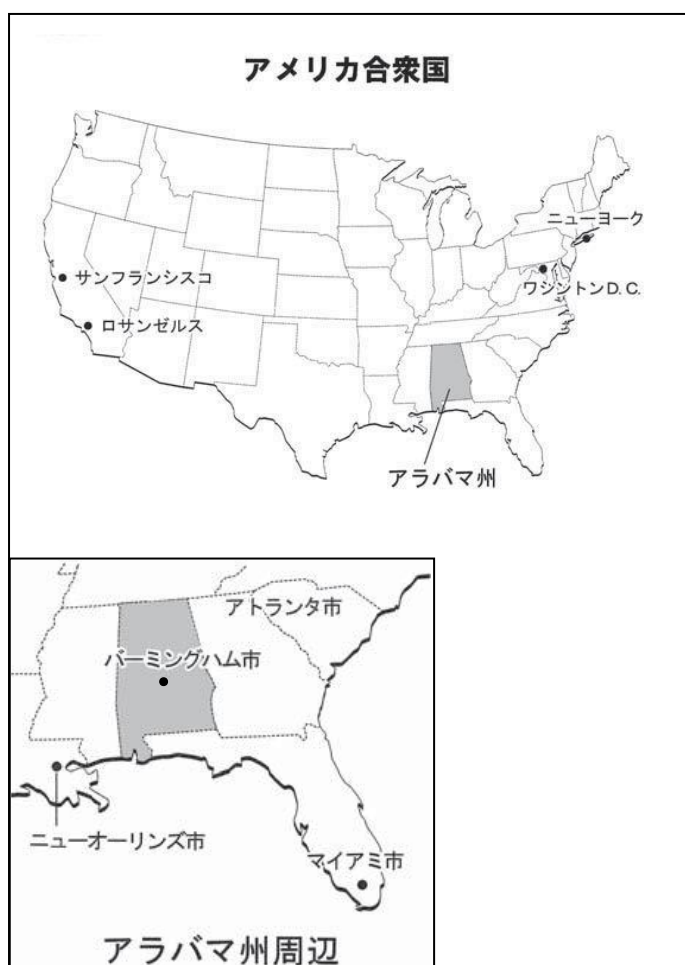
(1) バーミングハム市（アメリカ合衆国アラバマ州）

バーミングハム市は、アメリカ合衆国南東部アラバマ州の中心都市です。市内には、日本庭園も含め数多くの公園があり、豊かな生活環境を持ったまちです。まちのシンボルである「バルカン像」（ローマ神話に登場する火と鍛冶の神）は、このまちが鉄鋼業によって目覚ましい発展を遂げた歴史を表しています。

現在は、がん治療、エイズ研究、臓器移植などの最先端診療施設を有するアラバマ大学バーミングハム校医学部をはじめ、多くの先端専門医療センターが集積し、国際的な医療の中心地となっています。また、ロボット、航空・宇宙工学、バイオテクノロジーなどのハイテク企業が数多く進出し、経済活動が活発なまちとしても知られています。

また、バーミングハム市は、『青春』の詩で知られるサミュエル・ウルマンの出身地としても有名で、ウルマン記念館や南部最大の市立美術館、飛行博物館などがある文化都市です。毎年、「アート・フェスティバル」など数多くのイベントが開催され、世界の様々な国々との芸術文化交流を行っています。

日立市と同じく鉱業のまちとして発展した点がきっかけとなり、昭和 57（1982）年 4 月 23 日に国際親善姉妹都市の提携をしました。その後、市民訪問団・市内高校生のバーミングハム市訪問、キルト文化を通じた交流など幅広い交流が行われています。



バーミングハム市の中心市街地



サミュエル・ウルマンの胸像

(2) タウランガ市（ニュージーランド ベイ・オブ・プレンティ地方）

タウランガ市は、ニュージーランド国北島の北東部に位置し、プレンティ湾という美しい海に面したまちです。「タウランガ」とは、この地域の先住民族であるマオリ族の言葉で、“^{いかり}囲まれた水” “カヌーの錨を降ろす場所” という意味です。

古くはカヌーによる海上交通の中継地として発展してきた歴史があり、現在でもニュージーランド国最大規模の商業港であるタウランガ港を経済の中心に発展しています。近年では、国内で最も人口の伸びをみせるまちの一つとなり、平成 30（2018）年の人口は約 14.1 万人と、平成 18（2006）年国勢調査時の約 10.4 万人に比べると、12 年間で約 35.5%の増加となっています。

気候は一年中温暖で、キウイフルーツやアボカド、柑橘系の果樹栽培が盛んです。また、豊かな自然と美しい海岸線を持ち、国内でも有数のリゾート地でもあります。特に、夏の間はマリンスポーツを楽しむ観光客でにぎわい、訪れる観光客は年間約 50 万人にものぼります。

日立市とは、市民みこし訪問団や青少年の交流を通して、昭和 63（1988）年 4 月 18 日に国際親善姉妹都市の提携をしました。その後、ロータリークラブ、ガールスカウトの姉妹クラブの提携や文化・スポーツ交流など幅広い交流が行われています。



タウランガ市全景



タウランガ市内のマリーナ

(3) 姉妹都市データ（日立市との比較）

※令和6（2024）年3月末日現在のデータに基づき作成

項目	バーミングハム市	タウランガ市	日立市
市章			
国	アメリカ合衆国	ニュージーランド	日本国
市制施行	明治4(1871)年12月19日	昭和38(1963)年4月17日	昭和14(1939)年9月1日
市長	ランドル・ウッドフィン	アン・トーリー ※執行官代表者(委員長)	小川春樹
位置	北緯33度34分 西経86度45分	南緯37度42分01秒 東経176度09分51秒	北緯36度35分56秒 東経140度39分02秒
面積	393.5 km ²	168 km ²	225.73 km ²
人口	195,084人 (令和5(2023)年統計)	161,850人 (令和5(2023)年統計)	165,822人 (令和6(2024)年1月1日現在)
年平均気温	17.3℃ (令和5(2023)年平均気温)	15.7℃ (令和5(2023)統計)	16.5℃ (令和5(2023)年平均気温)
年間降水量	1,237 mm (令和5(2023)年統計)	1,827 mm (令和5(2023)年統計)	1,556 mm (令和5(2023)年統計)
通貨	アメリカドル	ニュージーランドドル	日本円
主要産業	医療サービス 医療機器製造業	園芸(キウイフルーツ・亜熱帯性果実)、農業、草花栽培、港湾業	工業 農業
議員の数	9人	10人	24人
日本からの距離	約11,600 km	約8,900 km	—
日本との時差 (夏時間)	11~3月 -15時間 4~10月 -14時間	4~9月 +3時間 10~3月 +4時間	—
飛行機での 所要時間	約14時間	約10~13時間	—
姉妹都市提携 年月日	昭和57(1982)年 4月23日	昭和63(1988)年 4月18日	—

【参考】 姉妹都市とは？

■姉妹都市提携の定義・意義とは

世界で最初の姉妹都市提携は、明治 26 (1893) 年にスイスのベルン市とアメリカ合衆国ニューベルン市との間で締結されたと言われていました。

わが国における海外自治体との姉妹都市交流提携は、昭和 30 (1955) 年 12 月に長崎市とセントポール市 (アメリカ合衆国ミネソタ州) の間で結ばれたことに始まり、それから半世紀以上が経った現在、姉妹都市提携をしている自治体は 899 団体、提携件数は 1,818 件 (都道府県 173 件、市区町村 1,645 件) で、相手国は 74 カ国・地域に達しています (※)。

※令和 6 (2024) 年 3 月 1 日現在 ((一財) 自治体国際化協会調査)

姉妹都市の定義については、法律上定められているものはありません。本来、交流というものは、人と人とが触れ合うことであり、自由な発想のもとに行われるものであることから、定義づけをすることにはなじまないという理由からと考えられます。

広辞苑 (岩波書店) によると、姉妹都市とは「文化交流や親善を目的として結びついた国際的な都市」と説明されています。

(一財) 自治体国際化協会調査では、姉妹都市に関する統計処理を行ううえで、一定の判断基準を設けないと不都合が生じることから、次に掲げる要件のすべてに該当するときは、「姉妹 (友好) 自治体」として取り扱うこととしています。

- (1) 両首長による提携書があること
- (2) 交流分野が特定のものに限られていないこと
- (3) 交流するに当たって、何らかの予算措置が必要になるものと考えられることから、議会の承認を得ていること

また、「姉妹都市」「友好都市」「友好交流都市」などの名称により、自治体同士で行われている都市間交流について上記 3 点の基準を満たしていれば、(一財) 自治体国際化協会調査では「姉妹 (友好) 自治体」として取り扱うこととしています。

わが国の最初の姉妹自治体提携は、1955 年 (昭和 30 年) 12 月に長崎市とアメリカ合衆国セントポール市との間に締結されました。

姉妹自治体提携数は、年々増加し、1993 年 12 月には 1,000 件、現在では 1,700 件を超えています。

姉妹自治体交流は自治体が行う国際交流を推進する典型的な手法の一つです。住民が参加できる機会も多いことから、国際交流施策の中核として重要なものとなっています。

姉妹自治体交流には、相互理解や国際親善の推進、地域の振興・活性化、さらには国際社会の平和と繁栄への貢献といったことが期待されています。

姉妹自治体交流を通じて、相手地域のニーズを的確に把握し、きめ細かな交流を行うことにより、儀礼的な友好親善を目的とするものにとどまらず、人的交流、文化交流、さらには、技術・経済交流といった共通の目的を持ち、相互協力まで発展しているものもあります。

■姉妹都市提携の上位 10 カ国

①	アメリカ合衆国	464 件	⑥	ブラジル	58 件
②	中国	383 件	⑦	ドイツ	57 件
③	大韓民国	169 件	⑧	フランス	55 件
④	オーストラリア	109 件	⑨	ロシア連邦	48 件
⑤	カナダ	72 件	⑩	ニュージーランド	44 件

■姉妹都市の呼称の由来

日本では「姉妹都市」という呼び方が一般的に使用されていますが、これは元々アメリカで「Sister city」と呼ばれたことから、それを直訳した「姉妹都市」という呼び方が今日まで多く採用されてきたものと思われます。

なお、イギリスでは「Twin City (双子都市)」と呼ばれることが多く、フランスでは「ville jumelée」、イタリアでは「citta gemellare」と「Twin」に相当する言葉が使われているようです。

ドイツでは「Partnerstadt (パートナー都市)」と呼ばれることが多く、オーストリアでは「Schwesterstadt」、スペインでは「ciudad hermana」、ポルトガルでは「cidade irma」という「Sister」に相当する言葉、ロシアでは「Города-Побратимы」という「Brother」に相当する言葉が使われています。

また、中国との提携の場合には、「姉妹」を用いると、どちらが姉か妹かという上下関係の問題が生じることから、「姉妹都市」という言い方は避け「友好都市」という呼称が用いられています。

韓国との提携の場合には従来、国（行政自治部）の承認を得たものが「姉妹都市」とされてきました。しかし、2004 年から行政自治部の承認が不要となったので「姉妹都市」「友好都市」の差異はないと思われれます。

最近行われている提携では、中国との間だけでなくいろいろな国との間で「友好都市」、「友好交流都市」などという名称が見受けられるようになりました。「姉妹都市の前段階としての友好都市締結」や「姉妹都市交流ではないが、交流は続けたい」ということで「友好都市」提携を結んでいる自治体も多く見られます。

【参考文献：（一財）自治体国際化協会「姉妹（友好）提携情報」より】



3 国際交流よくある質問 F A Q

(1) 外国語で相談したいときは…？

(公財) 茨城県国際交流協会では外国人の皆さんのために、法律、在留、労働、結婚、教育、そのほか生活全般についての相談受付をしています。相談できる言語は曜日によって異なりますので、電話・面接などでご相談ください。相談料金は無料です。

また、法律上の専門的な相談が必要な方のために、無料の弁護士相談会をしています(予約が必要です)。

外国人相談センター TEL 029-244-3811 (午前 8 時 30 分から午後 5 時まで)

各言語相談日一覧

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
日本語・英語・その他				
ベトナム語	韓国語	タイ語	ポルトガル語	タイ語
		中国語	タガログ語	
中国語 (午後 1 時 30 分から)	スペイン語	ベトナム語	インドネシア語	シンハラ語 (午後 1 時 30 分から)

※その他の言語については、相談員が翻訳機器等を活用するなどして対応します。

(2) ホームステイの受け入れをやってみたいときは…？

海外から青少年グループなどが来市する際に、市ではホームステイのご協力をいただけるホストファミリーを募集しています。ホストファミリーの募集は、市報等などでお知らせします。



(3) 国際交流に関するボランティア活動をやってみたいときは…？

市内には、国際交流を目的として活動している、さまざまなボランティア団体があります。団体によって活動内容が異なりますので、詳細については、各団体にお問い合わせください。

※各団体の紹介及び問合せ先は、P. 7～P. 14 の国際交流活動団体のページに記載してありますので、お気軽に連絡してください。

(連絡先の掲載がない団体については、文化・国際課にお問い合わせください。)

(4) 日本語ボランティアとして活動したいときは…？

日立市には、日本語ボランティア活動を行う団体が3つあり、それらの教室に所属することで活動することができます。外国人市民に日本語を教える日本語ボランティア活動をするためには、特別な資格や条件は必要ありません。

団体によって開催曜日や時間が異なりますので、詳しくは、各団体の日本語教室の担当者にお問い合わせください。

■国際交流ボランティアネットワークさくら

	教室1	教室2
曜日	木曜日	土曜日
時間	10:00～11:30	10:00～11:30
会費	2,000円(6ヶ月)	
場所	教育プラザ (日立市神峰町1-6-11)	女性センター (日立市鮎川町1-1-10)
連絡先	飯村 健二 090-4422-6816	勝木 由紀子 0294-35-3475

■フレンドリーあんず

	教室1	教室2
曜日	火曜日	金曜日
時間	19:00～20:50	14:00～16:00
会費	300円(1ヶ月)	
場所	女性センター (日立市鮎川町1-1-10)	教育プラザ (日立市神峰町1-6-11)
連絡先	比良 康夫 029-247-9078	田中 進 090-7933-5964

■日本語の部屋

	教室1	教室2
曜日	木曜日	土曜日
時間	18:00～20:00	10:00～12:00
会費	1,000円(2ヶ月)	
場所	十王交流センター (日立市十王町友部129-2)	県北生涯学習センター (日立市十王町友部2581)
連絡先	遠藤 愛子 090-6834-1119	鈴木 茂樹 090-9149-1129

■ 国際交流ボランティアネットワークさくら

【担当者コメント】 毎週木曜、土曜の午前中に約15ヶ国からの受講生の方々が、楽しく日本語を学び、またお互いの異文化を学びあっています。初めて日本語を学ぶ方から日本語能力試験N1を合格された上級者まで家族的な雰囲気です。日本語を学びたい方、教室でお待ちしています。



■ フレンドリーあんず

【担当者コメント】 みなさん一緒に日本語ボランティア活動をしませんか！日本にいながら国際交流が出来ます。世界の文化を身近に感じられます。外国人の皆さん、フレンドリーに日本語と日本について一緒に楽しく学びましょう！働いている人、学生、主婦の皆さん、どなたでも、いつでも大歓迎です。



■ 日本語の部屋

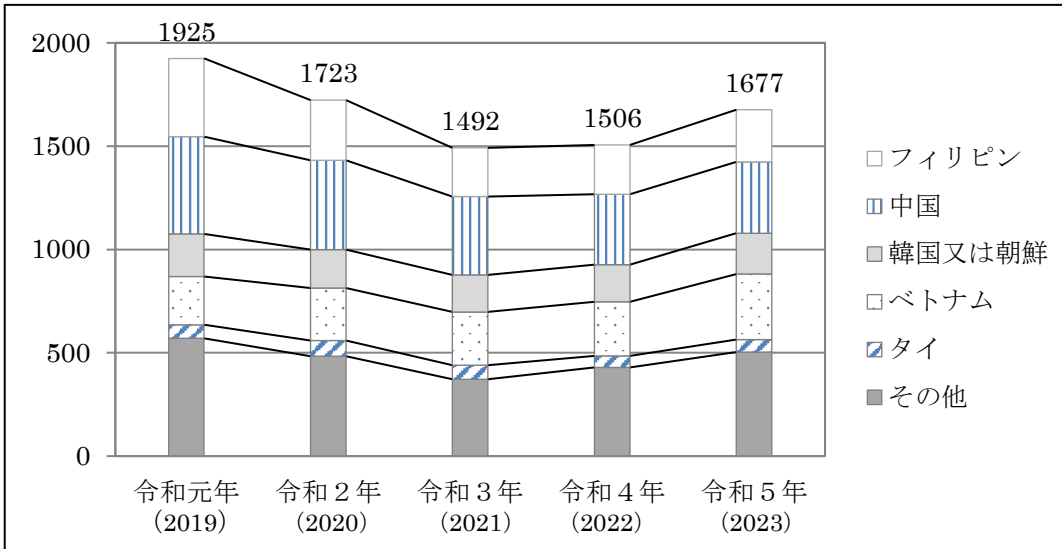
【担当者コメント】 日本語の部屋の教室は JR 十王駅の近くです。学習者一人一人のレベルや目的に合わせた勉強をしています。ぜひ一緒に日本語を勉強しましょう！



4 参考資料

(1) 日立市内の外国人市民数

ア 外国人市民数の推移



イ 国別外国人数の推移

(各年12月末日現在 単位：人)

国名 \ 年	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)
フィリピン	379	291	236	238	253
中国	470	432	379	341	345
韓国又は朝鮮	206	186	179	180	198
ベトナム	234	255	258	262	317
タイ	66	76	68	55	60
米国	40	40	38	38	45
インド	52	39	33	39	31
マレーシア	40	40	32	29	22
ネパール	69	43	43	57	83
スリランカ	35	20	21	24	32
インドネシア	29	26	21	47	73
ブラジル	68	44	24	21	69
ペルー	15	14	10	10	10
英国	12	12	8	8	10
バングラデシュ	11	11	10	16	9
パキスタン	18	13	11	11	11
その他	181	181	121	130	109
登録者数合計	1,925	1,723	1,492	1,506	1,677
登録国数(単位：国)	47	46	46	47	45

ウ 在留資格別外国人数

(令和5(2023)年12月末日現在 単位:人)

在留資格	登録者数	在留資格	登録者数
教授	1	特定活動	30
教育	33	特別永住者	119
企業内転勤	18	日本人の配偶者等	107
興行	2	永住者の配偶者等	21
技能	22	定住者	87
技能実習1号イ	9	特定技能1号	165
技能実習1号ロ	53	高度専門職1号イ	1
技能実習2号イ	4	高度専門職1号ロ	10
技能実習2号ロ	74	高度専門職2号	3
経営・管理	7	宗教	1
技術・人文知識・国際業務	164	永住者	468
技能実習3号ロ	18		
介護	1		
留学	143		
家族滞在	106		
*令和5(2023)年12月末日現在在住外国人登録者数(①+②)1,667人			

エ 市内大学等の留学生数の推移

(平成30年から令和2年は5月1日現在、令和3年から3月1日現在 単位:人)

大学名 \ 年	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	令和5年 (2023)
茨城大学工学部及び理工学研究科	147	137	129	101	76
茨城キリスト教大学	12	3	1	17	9
日立さくら日本語学校	73	28	28	27	64
留学生合計	232	168	158	145	149

注1) 留学生とは、在留資格が「留学」の者である。

注2) 市内大学等に所属している留学生のため、市外在住者も含む。

(2) 茨城県内の外国人市民数

ア 県内国籍別外国人数

(各年1月1日現在 単位：人)

国名 \ 年	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	令和5年 (2023)	令和5年6月 (2023)
中国	13,390	12,676	11,389	11,702	11,996
ベトナム	9,499	10,975	11,657	14,607	16,433
フィリピン	9,910	9,763	9,831	10,564	11,049
ブラジル	5,901	5,842	5,678	5,822	6,164
タイ	4,836	4,946	4,846	5,198	5,366
インドネシア	4,235	4,162	3,922	5,885	7,164
韓国又は朝鮮	4,530	4,116	4,330	4,054	4,353
スリランカ	2,719	2,980	3,016	3,350	3,614
ペルー	1,569	1,556	1,565	1,600	1,660
台湾	1,343	1,225	1,187	1,269	1,349
その他	11,596	12,674	12,462	15,370	16,710
登録者数合計	69,528	70,915	69,883	79,421	85,858
登録国数(単位：国) ※無国籍を除く	150	150	150	156	159

< 県女性活躍・県民協働課調べ >

イ 県内市町村別外国人数

(令和5(2023)年6月末日現在)

順位	市町村名	登録者数 (人)	順位	市町村名	登録者数 (人)
1	つくば市	12,729	11	結城市	2,736
2	常総市	6,418	12	下妻市	2,623
3	土浦市	5,266	13	取手市	2,355
4	古河市	4,686	14	ひたちなか市	2,286
5	水戸市	3,850	15	小美玉市	1,893
6	筑西市	3,658	16	かすみがうら市	1,749
7	坂東市	3,540	17	牛久市	1,728
8	鉾田市	3,420	18	日立市	1,609
9	神栖市	2,895	19	八千代町	1,428
10	龍ヶ崎市	2,737	20	稲敷市	1,539

< 県女性活躍・県民協働課調べ >

(3) 茨城県及び県内市町村の姉妹都市提携状況

(令和6(2024)年3月1日現在)

市町村名	姉妹都市等提携都市	提携年月日
茨城県	エミリア・ロマーニャ州 (イタリア)	昭和 61(1986)年 4月 17日
	エソンヌ県 (フランス・イル・ド・フランス州)	昭和 61(1986)年 4月 22日
水戸市	アナハイム (米国・カリフォルニア州)	昭和 51(1976)年 12月 21日
	重慶市 (中国・四川省) ※友好交流都市	平成 12(2000)年 6月 6日
日立市	バーミングハム市 (米国・アラバマ州)	昭和 57(1982)年 4月 23日
	タウランガ市 (ニュージーランド)	昭和 63(1988)年 4月 18日
土浦市	パロアルト市 (米国・カリフォルニア州)	平成 21(2009)年 4月 7日
	台南市 (台湾)	令和 5(2023)年 4月 7日
北茨城市	ワイロア地区 (ニュージーランド)	平成 11(1999)年 5月 8日
常陸太田市	余姚市 (中国・浙江省) ※友好交流都市	平成 11(1999)年 11月 17日
東海村	アイダホ・フォールズ (米国・アイダホ州)	昭和 56(1981)年 7月 3日
那珂市	オークリッジ (米国・テネシー州)	平成 2(1990)年 10月 29日
古河市	三河市 (中国・河北省) ※友好交流都市	平成 11(1999)年 11月 6日
結城市	メッヘレン (ベルギー・アントワープ州)	平成 8(1996)年 10月 31日
	メーサイ市 (タイ)	平成 24(2012)年 11月 19日
取手市	ユーバ市 (米国・カリフォルニア州)	平成 1(1989)年 11月 28日
	桂林市 (中国・広西壮族自治区) ※友好交流都市	平成 2(1990)年 5月 7日
牛久市	ホワイトホース (カナダ・ユーコン準州)	昭和 60(1985)年 4月 19日
	オレンジ (オーストラリア・ニューサウスウェールズ州)	平成 2(1990)年 7月 28日
	グレーヴェ・イン・キアンティ市 (イタリア・トスカーナ州フィレンツェ県)	平成 25(2013)年 12月 16日
つくば市	ケンブリッジ (米国・マサチューセッツ州)	昭和 59(1984)年 5月 8日
	アーバイン (米国・カリフォルニア州)	平成 1(1989)年 8月 3日
	深圳市 (中国・広東省) ※友好交流都市	平成 16(2004)年 6月 9日
鹿嶋市	グルノーブル市 (オーヴェルニュ・ローヌ・アルプ州イゼール県)	平成 25(2013)年 11月 12日
	塩城市 (中国・江蘇省) ※友好交流都市	平成 14(2002)年 11月 8日
守谷市	西帰浦市 (韓国・済州道)	平成 15(2003)年 11月 26日
	マインブルク (ドイツ・バイエルン州)	平成 2(1990)年 11月 3日
坂東市	グリーリー (米国・コロラド州)	平成 5(1993)年 8月 3日
	パインブラフ (米国・アーカンソー州)	昭和 61(1986)年 11月 9日
稲敷市	タリ市 (パプアニューギニア・ヘラ州)	平成 16(2014)年 7月 10日
	サーモンアーム市 (カナダ・ブリティッシュコロンビア州)	平成 18(2006)年 3月 27日
神栖市	ユーリカ市 (米国・カリフォルニア州)	平成 3(1991)年 11月 17日
	上虞市 (中国・浙江省) ※友好交流都市	平成 21(2009)年 2月 16日
小美玉市	アビリン (米国・カンザス州)	昭和 59(1984)年 10月 3日
美浦村	桂林市臨桂県 (中国・広西壮族自治区) ※友好交流都市	平成 2(1990)年 11月
阿見町	スーペリア (米国・ウィスコンシン州)	平成 7(1997)年 4月 11日
	柳州市 (中国・広西チワン族自治区)	令和 3(2021)年 6月 1日
境町	マリキナ市 (フィリピン・マニラ都市圏)	平成 29(2017)年 5月 17日
	ホノルル市 (米国・ハワイ州)	平成 30(2018)年 9月 25日
	モンペリエ・メディテラネ・メトロポール (フランス・オクシタニー地域圏 エロー県)	令和 5(2023)年 9月 28日
桜川市	シリストラ市 (ブルガリア・シリストラ州)	平成 28(2016)年 9月 14日
	バコール市 (フィリピン・カヴィデ州)	平成 30(2018)年 5月 23日
笠間市	ラール市 (ドイツ・バーデン・ヴュルテンベルク州)	平成 30(2018)年 5月 13日
大洗町	オトフォツク市 (ポーランド・マゾヴィエツキ県)	令和 1(2019)年 5月 22日
八千代町	ラックズオン県 (ベトナム・ラムドン省)	令和 4(2022)年 10月 26日

【合 計】 1県 25 市町村 【提携都市】 45 都市 (米国 14、中国 9、フランス 3ほか)

(4) 日立市の国際交流のあゆみ（年表）

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミングハム市	タウランガ市	
1973 (S48)			日立国際友好協会(HIFA)発足
1974 (S49)			ドイツ(旧西ドイツ)少年少女合唱団、デンマーク体操親善訪問団が来市 HIFA が小・中学校の児童生徒との交流を企画
1975 (S50)			日立市紹介パンフレット(英文)を作成
1979 (S54)			市制 40 周年を記念し、海外都市との姉妹都市提携について検討開始
1980 (S55)	(4月)バーミングハム市から、姉妹都市提携の希望が寄せられる。		
1981 (S56)			(10月)バーミングハム市との姉妹都市提携推進を目的に、姉妹都市提携協議会が発足 (10月)HIFA がフィリピンへ親善訪問団を派遣 バスケットボールや衣類を贈る。
1982 (S57)	(4月23日)姉妹都市提携調印式出席のため、立花市長(当時)一行がバーミングハム市を訪問		(1月)姉妹都市提携協議会を発展させ、日立姉妹都市協議会が発足
1983 (S58)	(4月)バーミングハム市リチャード・アーリントン市長(当時)一行 15人が来市 学校訪問、企業見学等を通じて交流を深める。 (8月)バーミングハム市からバルカン像と石灯ろうの交換について提案が寄せられる。		
1984 (S59)	(8月)バーミングハム市から、最初の英語指導助手(AET)を任用 (12月)茨城大学とアラバマ大学バーミングハム校(UAB)が大学間協定を締結		
1985 (S60)	(7月)国際青年年に伴い、バーミングハム市青少年一行が来市 (7月)日立市からバーミングハム市に石灯ろうを贈る。 (9月)バーミングハム市からバルカン像が贈られる。 (10月)バルカン像贈呈式出席のため、バーミングハム市議会議長一行が来市 (11月)石灯ろう贈呈式出席のため、市民訪問団 15人がバーミングハム市を訪問	(11月)タウランガ市ノエル・ポープ市長(当時)夫妻が来市し、姉妹都市提携の希望を寄せる。	
1986 (S61)	(8月)第1回姉妹都市交歓研修生として、中学生 7人がバーミングハム市を訪問		

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミングハム市	タウランガ市	
1986 (S61)	(8月)アラバマ大学演劇グループが来市 市民会館等で公演を行う。	(6月)市民みこし訪問団 151人がNZ ジャパンウィークに参加したほか、タウランガ市を訪問	
1987 (S62)	(8月)第2回姉妹都市交歓研修生7人がバーミングハム市を訪問	(8月)タウランガ市男子高校(タウランガ・ボーイズ・カレッジ(TBC))生徒20人が来市 (12月)タウランガ市との姉妹都市提携について市議会で議決	(7月)日立アメリカ社(日立製作所の米国現地法人)の後援により、米国人教師4人が来市(日米欧教諭交流プログラム(HISTEP))
1988 (S63)		(3月)ボーイスカウト日立第5団の青少年がタウランガ市を訪問 (3月)第3回姉妹都市交歓研修生14人がタウランガ市を訪問 (4月18日)姉妹都市提携 (4月)調印式出席のため、ポープ市長(当時)ほか、タウランガ市民58人が来市 併せてNZ物産展を開催 (4月)タウランガ市から最初のAETを任用 (10月)第1回日立市民親善訪問団一行40人がタウランガ市を訪問	(4月)市に国際交流室(担当)を設置
1989 (H1)	(3月)第4回姉妹都市交歓研修生14人がバーミングハム市を訪問 (8月)市制50周年を記念し、バーミングハム市青少年一行17人が来市 (9月)市制50周年を記念し、バーミングハム市から絵画が寄せられ、市展において展示	(8月)市制50周年を記念し、タウランガ市から青少年一行17人が来市 (9月)市制50周年を記念し、タウランガ市から写真が寄せられ、市展において展示	(3月)日立アメリカ社の後援により、市内中学教師を米国に派遣(HISTEP)(~H20) (5月)日立姉妹都市協議会を発展させ、日立国際交流協議会が発足
1990 (H2)	(1月)市内の造園業者が「緑の使節団」としてバーミングハム市を訪問 桜の記念植樹やホームビジット等を通じて交流を深める。 (10月)市民訪問団26人(公募)が「フレンドシップツアー」としてバーミングハム市を訪問	(3月)日立南ロータリークラブとタウランガ南ロータリークラブが姉妹クラブを提携 (4月)タウランガ市キース・クラーク市長(当時)夫妻一行来市 (7月)第5回姉妹都市交歓研修生14人がタウランガ市を訪問 (10月)NZ建国150周年を記念して開催されたNZ姉妹都市サミット(オークランド市・タウランガ市)に、市長代理として水庭収入役(当時)が参加	(7月)在住外国人向け生活ガイドブック「Living guide in Hitachi」を発行 (7月)英文月間イベント情報誌HYOTANを発行(~H18)
1991 (H3)	(7月)第6回姉妹都市交歓研修生14人がバーミングハム市を訪問 (10月)アラバマ大学バーミングハム校代表者が来市	(2月)日高小学校と成沢小学校でタウランガ市小学生の絵画を展示 (8月)TBC生徒16人が来市 タウランガ市の教育事情を聞く集いを開催 (8月)ボーイスカウト日立第1団がタウランガボーイスカウト第1団と姉妹団提携	(7月)HIFAと日立青年会議所の共同編集により、英文の市街地図「Making moves in Hitachi」を発行 (10月)カリフォルニア州との同時開催による「クリスト・アンブレラ展」を実施 市職員6人を海外研修に派遣(以降毎年)

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミングハム市	タウランガ市	
1992 (H4)	(3月)バーミングハム市から中学生親善姉妹都市研修団 28 人が来市	(7月)第 7 回姉妹都市交歓研修生 14 人がタウランガ市を訪問	(2月)姉妹都市紹介パンフレットを発行
1992 (H4)	(5月)バーミングハム市在住の元米国海軍指揮者が来市し、日立市民吹奏楽団で客演	(10月)第 2 回日立市民親善訪問団 34 人がタウランガ市を訪問	
	(7月)姉妹都市提携 10 周年を記念し、青少年親善大使 16 人がバーミングハム市を訪問		
1993 (H5)	(2月)日立市民まちづくり視察団 16 人がバーミングハム市を訪問	(8月)TBC 生徒 17 人が来市	(2月)市職員 97 人と外国人留学生との意見交換会や異文化理解研修会を開催
	(4月)バーミングハム市市民訪問団 16 人が来市	(9月)姉妹都市提携 5 周年を記念し、クラーク市長(当時)及び市民訪問団 34 人が来市。シビックセンターでマオリグループによるコンサートを開催	(3月)外国人向け生活情報ガイドブック「Living guide for Hitachi」(英語併記)発行
	(4月)バーミングハム広域圏開発局長一行 6 人が来市 両市の経済状況懇談のため、日立商工会議所を訪問		(4月)単身の男子留学生ための滞在施設「おおせ国際寮」を開設
	(8月)第 8 回姉妹都市交歓研修生 14 人がバーミングハム市を訪問		(9月)HIFA が外国人向けの情報提供のため、「インフォメーション・デスク」を開設
1994 (H6)	(6月)バーミングハム市青少年親善大使 20 人が来市	(7月)第 9 回姉妹都市交歓研修生 14 人がタウランガ市を訪問	
	(12月)(財)日立市科学文化情報財団主催のひたちパソコン画伯コンテストに、バーミングハム市民の作品が応募される。(～H16)	(9月)マウント・マンガヌイ高校生 14 人が来市	
		(10月)日立市女声合唱団がタウランガ市を訪問し、コンサートを開催 (12月)タウランガ男子高校ラグビーチーム 33 人が来市	
1995 (H7)	(8月)第 10 回姉妹都市交歓研修生 14 人がバーミングハム市を訪問	(8月)TBC 生徒 17 人が来市	(3月)日立市の市民みこしが、ハワイの「第 1 回ホノルルフェスティバル」に参加 (4月)市内の国際交流ボランティアグループの編集により「Bilingual Guidebook for Hitachi - 日英語による日立ガイドブック」を発行 (10月)グラスネット(草の根国際交流全国ネットワーク)フォーラム全国大会が日立市で開催
1996 (H8)	(3月)アラバマ大学バーミングハム校(UAB)の副学長と国際センター長が来市し、講演会を行う。	(1月)日立商工会議所の経済視察団 18 人がタウランガ市を訪問	
	(5月)バーミングハム市青少年親善大使 31 人が来市	(2月)タウランガ市から経済視察団 4 人が来市	
	(6月)日立第二高等学校にバーミングハム市から 2 人が留学	(7月)第 11 回姉妹都市交歓研修生 14 人がタウランガ市を訪問	
	(10月)飯山市長(当時)と市民訪問団 21 人がバーミングハム市を訪問	(9月)ポーブ市長(当時)を団長とする市民訪問団 6 人が来市	

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミングハム市	タウランガ市	
1997 (H9)	(7月)姉妹都市提携15周年を記念し、バーミングハム市市民訪問団11人が来市	(4月)日立商工会議所がタウランガ市英語学校長及び理事と懇談	(5月)NZ 全権特命大使が来市し、飯山市長(当時)を表敬訪問 姉妹都市交流等についての意見交換を実施
1997 (H9)	(7月)第12回姉妹都市交歓研修生14人がバーミングハム市を訪問	(7月)TBC生徒21人が来市	(6月)韓国の地方自治体行政視察団21人が来市
	(10月)行政視察のため、市職員2人をバーミングハム市へ派遣		(7月)オーストリア・ヴィーゼルブルグ市の音楽学校生徒が来市し、コンサートを開催 (10月)フルブライトメモリアル基金教員プログラムとして、米国教師20人が来市
1998 (H10)	(3月)バーミングハムの鈴木メソッド・バイオリングループ38人が来市し、コンサートを開催	(1月)タウランガ市男子高校生1人が、多賀高校に長期(1年)留学	(4月)日立市教育プラザ内に「国際交流サロン」を開設
	(5月)リチャード・アーリントン市長(当時)を団長に、バーミングハム市市民訪問団4人が来市	(5月)姉妹都市提携10周年を記念し、第3回日立市民親善訪問団50人がタウランガ市を訪問	
	(5月)バーミングハム市青少年親善大使25人が来市	(7月)第13回姉妹都市交歓研修生14人がタウランガ市を訪問	
	(7月)バーミングハム市の中学生1人が来市し、市民宅にホームステイ	(8月)タウランガ市民2人が市内視察のため来市	
	(8月)米国アラバマ・バレエ団芸術監督が来市	(11月)日立市産業祭でタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置	
1999 (H11)	(7月)バーミングハム市市民訪問団8人が来市	(4月)タウランガ市男子高校生1人が、多賀高校に長期(8ヶ月)留学	(6月)中国の新聞社一行が来市
	(7月)第14回姉妹都市交歓研修生14人がバーミングハム市を訪問		(7月)スペイン・リア氏の音楽グループ118人が来市し、市内の音楽グループとジョイント・コンサートを開催 (8月)日独スポーツ少年団同時交流で、ドイツの青少年グループ12人が来市
2000 (H12)	(5月)バーミングハム市青少年親善大使23人が来市	(7月)TBC生徒13人が来市 (7月)第15回姉妹都市交歓研修生14人がタウランガ市を訪問	
2001 (H13)	(5月)バーミングハム市青少年ジャズグループ21人が来市し、演奏会を開催	(4月)ポーブ市長一行7人が来市し、さくらまつりを見学	(3月)市勢ガイドブック「Welcome to Hitachi」(日本語・英語併記)を改定
		(7月)タウランガ市ガールガイド6人が、ガールスカウト日立クラブの招待で来市	
	(8月)第16回姉妹都市交歓研修生14人がバーミングハム市を訪問	(7月)日立市の三味線奏者(高校生)が、ポーブ市長の招待で1ヶ月間タウランガ市に滞在し、演奏会を開催 (12月)タウランガ市のピアニストが、約1ヶ月半にわたり来市し、記念コンサートを開催	
2002 (H14)	(7月)姉妹都市提携20周年を記念して、樫村市長(当時)と市民訪問団23人がバーミングハム市を訪問	(6月)タウランガ市の青少年奉仕グループ16人が来市	

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミングハム市	タウンガ市	
	(10月)バーミングハム市のジャズ演奏者21人が来市し、コンサートを開催	(7月)第17回姉妹都市交歓研修生14人がタウンガ市を訪問	
2002 (H14)	(11月)日立市産業祭でバーミングハム市のキルトを展示販売	(11月)日立市産業祭でタウンガ市の物産等の紹介コーナーを設置	
2003 (H15)	(3月)バーミングハム市の宇宙飛行士が来市し、第11回国際シンポジウムへの出演や駒王中学校での講演を行う	(3月)ガールスカウト日立クラブ団員10人がタウンガ市を訪問	
	(7月)バーミングハム市姉妹都市日本委員会のメンバー1人が来市	(5月)タウンガ市のピアニストと彫刻家が来市し、日立交響楽団との合同コンサートや彫刻展を開催	
	(7月)バーミングハム市で「日立キルト展」が開催 日立市のキルト愛好家の作品14点が紹介される。	(8月)KIWI-HITACHI CLUBのメンバー6人がタウンガ市を訪問 (10月)タウンガ市写真協会メンバーが来市し、シビックセンター及び市内百貨店において写真展を開催	
2004 (H16)	(10月)バーミングハム市のキルト作家をはじめとするアーティスト12人が来市	(2月)日立工業専修学校生徒がタウンガ市を訪問 (7月)TBC生徒15人が来市	
	(10月)第1回フレンドシップ・キルト展開催 日立市民とバーミングハム市民の作品展示のほか、フレンドシップ・キルトの交換を行う。	(7月)第19回姉妹都市交歓研修生14人がタウンガ市を訪問 (10月)KIWI-HITACHI CLUBのメンバーがタウンガ市を訪問し、ガーデンフェスティバルに参加	
	(8月)第20回姉妹都市交歓研修生15人がバーミングハム市を訪問	(2月)日立工業専修学校生徒がタウンガ市を訪問 (4月)タウンガ市長一行11人が来市し、さくらまつり、日立さくらロードレース参加のほか、第1回日立市・タウンガ市姉妹都市会議、記念植樹等を行う。 (4月)タウンガ・ガールガイド一行10人が来市	
2005 (H17)	(10月)第13回世界地方都市十字路会議に伴い、バーミングハム市からパネリスト1人が来市	(11月)日立市産業祭で日立商工会議所がタウンガ市の物産等の紹介コーナーを設置	
2006 (H18)	(4月)バーミングハム・インターナショナル・フェスティバル参加のため、市民訪問団41人がバーミングハム市を訪問し、日立風流物からくり人形や能楽を披露	(2月)日立工業専修学校生徒がタウンガ市を訪問 (6月)国際親善姉妹都市実務研修派遣として、市職員1人をタウンガ市に9ヶ月派遣。タウンガ市役所市民サービス課において実務研修を実施	(8月)第25回日中学生会議第10回日本大会が日立市で開催され、中国各地の留学生31人が来市
	(6月)バーミングハム市青少年訪問団14人が来市	(7月)TBC生徒13人が来市 (7月)第21回姉妹都市交歓研修生15人がタウンガ市を訪問	(9月)日立市の観光ガイドマップを英語・中国語・韓国語版で作成
	(9月)第3回フレンドシップ・キルト展で、バーミングハム市民の作品9点を展示	(8月)日立第二高等学校生徒19人がタウンガ・ガールズ・カレッジ(TGC)との交流のため、タウンガ市を訪問	(12月)韓国江原道行政視察団9人が来市し、日立地区産業支援センター等の視察を行う。

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミンガム市	タウンガ市	
		(11月)日立市産業祭で日立商工会議所がタウンガ市の物産等の紹介コーナーを設置	
2007 (H19)	(6月)かみね動物園開園50周年記念式典への出席及び動物交換事業の協議を行うため、バーミンガム市動物園代表者1人が来市	(1月)日立工業専修学校生徒がタウンガ市を訪問	(2月)奥日立きららの里にモンゴル国オブス県の有志の協力により、ゲル(遊牧民が利用する伝統的な住居)を設置し、「モンゴルの丘」を開設
2007 (H19)	(8月)第22回姉妹都市交歓研修生15人がバーミンガム市を訪問	(2月)茨城キリスト教大学生9人が、海外提携大学であるNZワイカト大学で語学研修を実施するにあたり、タウンガ市でホームステイプログラムを実施	(8月)姉妹都市の概要・交流のあゆみ等の紹介パンフレット「Our Sister Cities」を発行
		(3月)ガールスカウト日立クラブ団員10人が、タウンガ・ガールガイドとの交流のためタウンガ市を訪問	
2007 (H19)	(9月)第4回フレンドシップ・キルト展で、バーミンガム市民の作品6点を展示	(9月)タウンガ市ベツレヘムカレッジ生徒17人が来市	(10月)在住外国人向け生活・健康無料相談会を実施(以降毎年)
		(11月)姉妹都市提携20周年を迎えるにあたり、樫村市長を団長とするタウンガ市親善訪問団35人を派遣し、第2回日立市・タウンガ市姉妹都市会議で幅広い分野における長期的な交流事業についての具体的な協議を行ったほか、主要施設調査等を実施	
		(11月)日立市産業祭で日立商工会議所がタウンガ市の物産等の紹介コーナーを設置	
2008 (H20)	(3月)バーミンガム市動物園で開催される「全米動物園協会地区会議」に出席するため、市職員2人をバーミンガム市に派遣	(2月)日立工業専修学校生徒がタウンガ市を訪問	(4月)多賀消防署において、外国人研修生26人を対象に、年3回防火・安全対策講話を実施
		(2月)茨城キリスト教大学生9人が、NZワイカト大学で語学研修を実施するにあたり、タウンガ市でホームステイプログラムを実施	
	(6月)バーミンガム市青少年訪問団8人が来市	(4月)姉妹都市提携20周年を記念してタウンガ市スチュアート・クロスビー市長一行が来市。20周年記念セレモニー(新協定書調印式)や第3回日立市・タウンガ市姉妹都市会議、さくらまつり見学、市内視察等を実施	(10月)かみね動物園飼育員研修として、米国に飼育員1人を派遣
		(7月)中学生海外短期留学支援事業として、中学生11人がタウンガ市を訪問	
		(8月)第23回姉妹都市交歓研修生15人がタウンガ市を訪問	
		(11月)日立市産業祭で日立商工会議所がタウンガ市の物産等の紹介コーナーを設置	
2009 (H21)	(2月)第5回フレンドシップ・キルト展で、バーミンガム市民の作品8点を展示	(2月)日立工業専修学校生徒100人がタウンガ市を訪問	(2月)市HPをリニューアルし、掲載情報を英語・中国語・韓国語に翻訳できる機能を設置

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミンガム市	タウランガ市	
2009 (H21)	(6月)バーミンガム市少年合唱団一行55人が来市し、フレンドシップ・コンサートの開催したほか、大久保小学校訪問、市内視察等を実施	(2月)茨城キリスト教大学生4人が、海外提携大学であるNZワイカト大学(タウランガ市)で語学研修を実施	(4月)消防本部において、外国人研修生81人を対象に、防火・安全対策講話を年4回実施
		(4月)タウランガ市ガールガイド一行11人が、ガールスカウト日立クラブの招待で来市	
2009 (H21)		(7月)タウランガ市経済団体職員1人が来市し、櫻村市長(当時)表敬訪問及び日立商工会議所訪問、「ひたち環境都市フェスタ2009」の視察等を実施	(5月)自治体職員協力交流事業として、中国から自治体職員1人を6ヶ月間受入れ、上下水道についての技術研修を実施
		(11月)日立市産業祭で日立商工会議所がタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置したほか、タウランガ市地元企業関係者2人が参加	(10月)医療通訳ボランティア研修会(全3回)を実施
2010 (H22)	(2月)第6回フレンドシップ・キルト展開催で、バーミンガム市民の作品13点を展示	(2月)日立工業専修学校生徒104人がタウランガ市を訪問	(6月)消防本部において、外国人研修生34人を対象に、防火・安全対策講話を実施
	(6月)バーミンガム市青少年訪問団11人が来市	(2月)茨城キリスト教大学生6人が、NZワイカト大学(タウランガ市)で語学研修を実施	
	(7月)未来の科学者海外派遣事業として、中学生15人がバーミンガム市ほか2都市を訪問	(7月)中学生海外短期留学支援事業として、中学生12人がタウランガ市を訪問 (11月)日立市産業祭で日立商工会議所がタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置したほか、タウランガ市地元企業関係者1人が参加	
2011 (H23)	(2月)第7回フレンドシップ・キルト展で、バーミンガム市民の作品8点を展示	(2月)日立工業専修学校生徒107人がタウランガ市を訪問	(1月)通訳ボランティア養成講座(全3回)を開催
	(6月)バーミンガム市の子どもたちから東日本大震災復興応援メッセージ・絵画等約700点が届く。	(8月)日立第二高等学校生13人が、NZ短期留学として、タウランガ・ガールズ・カレッジでの授業参加、ホームステイ等を実施	
	(8月)バーミンガム市から東日本大震災復興応援寄付金として30,000米ドル(2,312,700円)が贈られる。	(8月)タウランガ市から東日本大震災復興応援寄付金として5,000NZドル(318,750円)が贈られる。	(11月)タウランガ市経済団体職員6人が来市し、吉成市長表敬訪問及び市内視察等を実施
		(9月)日立市の子どもたちからバーミンガム市へ、東日本大震災時の支援に対するお礼のメッセージ約700点を送付	
	(11月)バーミンガム市ロータリークラブから復興応援寄付金として5,000米ドル(385,750円)が贈られる。	(11月)日立市産業祭で日立商工会議所がタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置したほか、タウランガ市地元企業関係者2人が参加	(6月)日立国際交流協議会ツイッターでの国際交流関係の情報提供を開始

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミングハム市	タウランガ市	
2012 (H24)	(2月)第8回フレンドシップ・キルト展で、バーミングハム市民の作品5点を展示	(2月)第8回フレンドシップ・キルト展で、タウランガ市民の作品2点を展示	(9月)外国人17人参加のもと、防災訓練を実施
		(2月)日立工業専修学校生徒90人がタウランガ市を訪問	
2012 (H24)	(3月)東日本大震災時の支援に対するお礼として、第8回フレンドシップ・キルト展で市民参加のもと作成したキルト作品をバーミングハム市に送付	(3月)東日本大震災時の支援に対するお礼として、第8回フレンドシップ・キルト展で市民参加のもと作成したキルト作品をタウランガ市に送付	
		(3月)ガールスカウト日立市国際交流委員会メンバー8人がタウランガ市を訪問し、姉妹都市交流キャンプ等を実施	
	(5月)姉妹都市提携30周年記念写真展を開催	(10月)吉成市長を団長とするタウランガ市親善訪問団11人を派遣し、第4回日立市・タウランガ市姉妹都市会議で、今後の交流についての事務レベルでの協議を実施	
	(6月)UAB学生一行12人が来市	(10月)TGC校長夫妻来市	
	(6月)姉妹都市提携30周年記念フレンドシップイベントの開催	(11月)日立市産業祭で日立商工会議所がタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置したほか、タウランガ市地元企業関係者2人が参加	
(9月)バーミングハム市ウィリアム・ベル市長が来市 市防災担当者や教育担当者との懇談を行う。			
(11月)姉妹都市提携30周年記念写真展を開催			
2013 (H25)	(2月)第9回フレンドシップ・キルト展で、バーミングハム市民の作品5点を展示	(2月)第9回フレンドシップ・キルト展で、タウランガ市民の作品6点を展示	(8月)日独スポーツ少年団同時交流で、ドイツの青少年グループ11人が来市
		(2月)日立工業専修学校生徒87人がタウランガ市を訪問	
	(4月)吉成市長及び市内医療関係者等5人がバーミングハム市を訪問	(4月)タウランガ・インターメディアイト・スクール学部長等3人来市 (4月)タウランガ市ガールガイド一行10人が、ガールスカウト日立クラブの招待で来市	(10月)日立港とメルセデス・ベンツのドイツ本社関連により吉成市長一行11人がドイツを訪問
(8月)UAB講師1人が来市し、茨城キリスト教大学でイングリッシュキャンプを実施	(11月)日立市産業祭で日立商工会議所がタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置したほか、タウランガ市地元企業関係者2人が参加		
2014 (H26)	(2月)第10回フレンドシップ・キルト展で、バーミングハム市民の作品6点を展示	(2月)第10回フレンドシップ・キルト展で、タウランガ市民の作品5点を展示	
		(2月)日立工業専修学校生徒94人がタウランガ市を訪問	
(5月)バーミングハム市学校関係者1人が来市	(4月)タウランガ市スチュアート・クロスビー市長一行が来市 第5回日立市・タウランガ市姉妹都市会議やさくらまつり見学、市内視察等を実施		

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミングハム市	タウランガ市	
2014 (H26)	(5月)UAB 学生一行 12 人が来市	(10月) 日立ユネスコ協会が、私の町のたからもの絵画展で、タウランガ市の子どもたちの作品 20 点を展示	
	(7月)日立北高等学校生徒 13 人がバーミングハム市を訪問		
	(8月)東日本大震災時の応援メッセージ等に対する謝意を伝えるため、中学生 15 人がバーミングハム市を訪問		
	(9月)バーミングハム市民訪問団 5 人が来市		
2015 (H27)	(3月)第 11 回フレンドシップ・キルト展で、バーミングハム市民の作品 6 点を展示	(3月)第 11 回フレンドシップ・キルト展で、タウランガ市民の作品 8 点を展示	
	(6月)バーミングハム市キルトショーで、日立市のキルト愛好家の作品 18 点が紹介	(3月)ガールスカウト日立市国際交流委員会メンバー 10 人がタウランガ市を訪問し、姉妹都市交流キャンプ等を実施	
	(7月)日立北高等学校生徒 13 人がバーミングハム市を訪問	(9月)タウランガ市経済担当者 2 人来市	
	(12月)アラバマ日米協会が開催したイベントで、日立市のキルト愛好家の作品 6 点が紹介	(11月)日立ユネスコ協会が、私の町のたからもの絵画展で、タウランガ市の子どもたちの作品 31 点を展示	
		(11月)ひたち生き生き百年塾が、まちへのラブレター国際絵画展で、タウランガ市の子どもたちの作品を展示	
2016 (H28)	(2月)マーク・ジャクソンバーミングハム市姉妹都市委員会委員長が来市	(5月)タウランガ市特別支援教育関係者 6 人が来市	(8月)外国人 5 人参加のもと、茨城県・高萩市総合防災訓練へ参加
	(2月)第 12 回フレンドシップ・キルト展で、バーミングハム市民の作品 6 点を展示		
	(5月)バーミングハム市青少年一行 15 人が来市		
	(7月)日立北高等学校生徒 9 人がバーミングハム市を訪問		
	(9月)マーク・ジャクソンバーミングハム市姉妹都市委員会委員長ほか 1 人が来市	(9月)タウランガ市青少年一行 7 人が来市	(11月) 外国人 3 人参加のもと、日立市と日立国際交流協議会共催の防災訓練に参加
	(10月)副市長を代表とした産業交流ミッション団 10 人を派遣		
	(11月)日立総合病院からUAB附属病院に医師 2 人を派遣		
	(12月)バーミングハム市大学生グループ 6 人が来市	(11月)日立ユネスコ協会が、私の町のたからもの絵画展で、タウランガ市の子どもたちの作品 30 点を展示	

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミンガム市	タウランガ市	
2017 (H29)	(2月)第13回フレンドシップ・キルト展で、バーミンガム市民の作品6点を展示	(2月)日立工業専修学校生徒90人がタウランガ市を訪問	
	(5月)元バーミンガム市姉妹都市委員会委員長を含む、バーミンガム市民訪問団5人が来市	(9月)タウランガ市青少年グループ9人が来市	
	(7月)日立北高等学校生徒13人がバーミンガム市を訪問	(10月)小川市長を団長とするタウランガ市親善訪問団13人を派遣し、第6回日立市・タウランガ市姉妹都市会議で、今後の交流についての協議を行ったほか、協議確認書の署人を行う。 (11月)日立ユネスコ協会が、私の町のたからもの絵画展で、タウランガ市の子どもたちの作品22点を展示	
2018 (H30)	(1月)副市長を代表とした産業交流団11人を派遣		(3月)外国人12人参加のもと、防災訓練を実施
	(2月)第14回フレンドシップ・キルト展で、バーミンガム市民の作品11点を展示	(2月)第14回フレンドシップ・キルト展で、タウランガ市民の作品8点を展示 (2月)日立工業専修学校生徒93人がタウランガ市を訪問	
	(5月)元バーミンガム市姉妹都市委員会委員長を含む、バーミンガム市民2人が来市		
	(5月)バーミンガム市青少年一行10人が来市		
	(7月)日立北高等学校生徒10人がバーミンガム市を訪問		
		(8月)日立電鉄交通サービス(株)が主催する「第1回日立市中学生海外ホームステイ体験」に、市内中学生8人が参加	
	(9月)バーミンガム市バルカン公園運営関係者等2人が来市	(9月)タウランガ市経済関係者が来市 (9月)タウランガ市青少年一行5人が来市 (9月)タウランガ市姉妹都市提携30周年記念「姉妹都市交流写真パネル展」を開催	

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミングハム市	タウンガ市	
2018 (H30)	(10月)日立市とバーミングハム市との産業コーディネーターである、カオリ・シェラー氏をはじめ、アラバマ日米協会役員等5人が来市 (10月)前バーミングハム市姉妹都市委員会委員長をはじめ、バーミングハム市経済関係者等4人が来市	(10月)タウンガ市姉妹都市交流関係者が来市	
2019 (H31、R1)	(2月)UAB職員を含むバーミングハム市民2人が来市	(2月)日立工業専修学校生徒93人がタウンガ市を訪問	(7月)サッカーを通じた国際交流を目的に、中国・北京市の中関村小学校グループ37人が来市
	(2月)第15回フレンドシップ・キルト展で、バーミングハム市民の作品7点を展示	(2月)第15回フレンドシップ・キルト展で、タウンガ市民の作品7点を展示 (3月)ガールスカウト日立市国際交流委員会メンバー8人がタウンガ市を訪問し、姉妹都市交流キャンプ等を実施	(11月)県内の視察のため、中国・重慶市の重慶精英人士訪問団32人が来市
	(5月)元バーミングハム市姉妹都市委員会委員長を含む、バーミングハム市民2人が来市	(8月)茨城交通(株)が主催する「第2回日立市中学生海外ホームスイ体験」に、市内中学生5人が参加 (9月)タウンガ市青少年グループ6人が来市	(11月)市内の視察のため、中国・四川省の四川師範大学附属実験学校の教員グループ13人が来市
		(2月)日立工業専修学校生徒78人がタウンガ市を訪問 (2月)第16回フレンドシップ・キルト展で、タウンガ市民の作品5点を展示	
2020 (R2)	(6月)新型コロナウイルス感染拡大防止に役立ててもらったため、バーミングハム市及びタウンガ市にマスク各2万枚を送付		
2021 (R3)		(2月)第17回フレンドシップ・キルト展で、タウンガ市民の作品7点を展示	
		(4月)「国際親善姉妹都市ウィーク」写真パネル展にて、マスクを送付した際に送られた各市長からのメッセージを展示	
2022 (R4)	(8月)「日立市・バーミングハム市姉妹都市提携40周年記念デジタル写真展」を実施	(9月)タウンガ市姉妹都市交流関係者2人が来市	
	(10月)姉妹都市提携40周年を記念したバーミングハム市長からのメッセージを市報へ掲載		
2023 (R5)	(2月)第18回フレンドシップ・キルト展で、バーミングハム市民の作品6点を展示	(2月)第18回フレンドシップ・キルト展で、タウンガ市民の作品6点を展示	
		(8月)茨城交通(株)が主催する「第6回日立市中学生海外ホームスイ体験」に、市内中学生6人が参加	

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミンガム市	タウランガ市	
2023 (R5)		(9月)タウランガ市青少年グループ 24人が来市 (11月)「日立市・タウランガ市姉妹 都市提携 35周年記念デジタル写 真展」を実施	

【参考（定期的に実施している姉妹都市関係事業）】

- *ニューージーランド研修(日立工業専修学校):平成15(2003)年度～25(2013)年度(毎年)、平成28(2016)年度～(隔年)
- *フレンドシップ・キルト展:平成16(2004)年度～
(令和2(2021)年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止)
- *日立市産業祭での姉妹都市コーナー設置:平成17(2005)年度～(隔年)
- *バーミンガム市青少年訪問団一行来市:平成18(2006)年度～(隔年)
- *日立市・タウランガ市市長訪問団の相互訪問:平成20(2008)年度～(3年に1回)
第3回日立市・タウランガ市姉妹都市会議で決定(平成23(2011)年度は東日本大震災の影響により中止平成24(2012)年度に実施)
- *中学生海外短期留学支援事業:平成20(2008)年度～26(2014)年度(毎年)
市内中学生のタウランガ市短期留学を支援(平成21(2009)年度は新型インフルエンザ流行により中止)
- *未来の科学者海外派遣事業:平成21(2009)年度～23(2011)年度(毎年)
姉妹都市交歓研修生派遣事業を、科学教育に重点をおいた内容とした事業に変更。(平成21(2009)年度は新型インフルエンザ流行により中止)
- *姉妹都市交歓研修生派遣事業:昭和61(1986)年度～平成20(2008)年度(毎年)
市内中学生を国際親善姉妹都市に派遣。第1回目はバーミンガム市、第2回目からバーミンガム市・タウランガ市に交互に派遣(平成15(2003)年度はSARS・テロ等の国際情勢の不安により中止)
- *タウランガ市男子高校(タウランガ・ボーイズ・カレッジ(TBC))生徒来市:平成3(1991)年度～18(2006)年度(不定期)

令和5（2023）年度わたちの国際交流

- 発行年 令和6（2024）年3月
- 編集・発行 日立市生活環境部文化・国際課
- 連絡先 〒317-8601 日立市助川町1-1-1
TEL 0294（22）3111 内線535
FAX 0294（24）5301
E-mail : kokubun@city.hitachi.lg.jp